

こども学科の学びを紹介します。理想の「せんせい」を目指して、日々さまざまな学修に取り組んでいます！

## 行事：芸術鑑賞会（美術・音楽）



子どもの心を豊かに育むためには、保育者・教育者自身が豊かな感性や創造力、そして共感性を身につけていることが重要です。こども学科では、こうした力を育み、将来の保育者・教育者としての資質向上を目指して「芸術鑑賞会」を実施しています。

1年次には美術分野として、北海道立近代美術館で開催される絵画や歴史的な美術工芸品などの展覧会を鑑賞し、多様な表現に触れる中で感性を磨きます。2年次には音楽分野として、コンサートホールで開催されるオーケストラ演奏会などを鑑賞し、音楽の魅力や表現の豊かさを体感します。

これらの体験を通して、子どもに寄り添うための感受性や表現力を高め、実践的な力の向上につなげています。

## 科目：基礎教育セミナー I・応用教育セミナー I ※芸術鑑賞会の事前・事後指導

芸術鑑賞会の実施にあたり、「基礎教育セミナー I（1年次）」および「応用教育セミナー I（2年次）」において、事前・事後の指導を計画的に行っています。

事前指導では、芸術鑑賞会の目的や意義について理解を深めるとともに、鑑賞する作品や会場の特徴について学び、主体的な鑑賞姿勢を養います。また、集団で行動する際の基本的な約束や、公共の場における適切なマナーについても確認し、社会性や協調性の育成を図ります。事後指導では、実際の鑑賞体験を振り返り、感じたことや気づいたことを整理します。さらに、自身の今後の課題や学びを明確にすることで、次の学習や実践へとつなげていきます。

これらの一連の学びを通して、芸術への理解を深めるだけでなく、感性や表現力などを高め、保育者・教育者としての資質向上を目指しています。

### 【学生の感想から】

- \* 展覧会を鑑賞して、想像していたよりも面白く、興味が湧いた。今まで美術館などの施設に関心があまりなかったが、このような機会があればまた行きたいと思う。
- \* オーケストラの演奏を聴くのは初めてで、素晴らしいホールでの音の迫力や響きの一体感に心を動かされた。これからも様々な表現にふれて感性を高め、成長していきたい。
- \* あらゆるジャンルの芸術作品を鑑賞して感性を育て、子どもたちがふれる歌や絵などの芸術の面白さや楽しさを教えることのできる保育者・教育者になりたい。



# 北翔大学短期大学部

こども学科「絵本士・司書教諭の会」会報もご覧ください。⇒



閲覧のみ